

2000誌 に せ ん し

第17号
発行(社)鹿児島県建築協会
青年部会
鹿児島市城山町2-13
TEL(099)224-5220

いかを問うてい
かなければなり
ません。地域だ
からこそ出来る
活動、地域に根
ざした活動、将

「あこぎ」



青年部会長
吉満 祐市

先日の4
月28日に
無事青年部
会の定時総

会も終わり、いよいよ平成18年度が
スタートしました。

おかげさまで、多くの方々のご支援が
あり、当青年部会も10周年を迎える
事となりました。これも偏に先輩達が
成し得た事業や活動があったこそと
思っています。又、親会の皆様の暖か
いご支援も大変ありがたく感じてお
ります。

さて、現在青年部会は新たな試練を
迎えています。社会における建築業界
への不信任や経済の2極化等、将来に
おける展望を少なからずとも消沈さ
せる状況が続いていることが今の青
年部会員の悩みであります。

しかしながら、この様な状況を踏ま
えて自分達は何をしなければいけな

来における業界への効果を目的とし
た活動を着実に進める必要があります。
多くの方から支持される活動が信
用や信頼になり、自分達の自信に繋
ぐと考えます。それには、私達が取
組んでいる事業に一般の方々がこ
んな事やってるんだ、「へえーそんな
だ」と感じていただけたら広報に務め
なければなりません。

本年度、会員研修委員会や活動委員
会の各事業は例年と違った形で進行
する予定です。これらの事業において
多くの効果が地域や業界にあること
をイントラネットでの情報として、広
くメディアに取り上げていただく事
として、一般の方々と共に目を向け
て活動を理解していただけるように、
広報に大いに務めて行くことと考
えます。又、E-T推進室が進めてい
るイントラネットの活用についても、
会員間の利便の向上に働きかけて
行きます。総務委員会が青年部
会員の融和や懇

親を深めていただくことも期待し、
新入会員入会の促進に繋がります。さら
に、私自身青年部会員の皆様が力を発
揮していただけるようにファシリテ
ーター(促進者)としての役割を務め
てまいります。

青年部会は常にP・D・C・A
(Plan-do-check-act)の繰り返し
です。企画を立て実行し、評価し改善し
続けながらより良い方向へ全員のベ
クトルを合わせなければなりません。

青年部会の先輩方が繋いでこられ
た10年をさらに繋いでいくため、又
自分や社会を向上するため、今動かな
いといけないことを明確にし、愉し
みながら行動しましょう。

総務委員会



総務委員長
南 洋和

この度、平
成18年度
と19年度
に総務委員
長を仰せつ

かりました南洋和であります。

今年度の活動内容として、定時
総会と懇親会の運営、会報2000誌

と協会だよりの原稿依頼ホームペ
ジ掲載等、会員手帳の更新、青年部
会レクリエーション&懇親会開催運
営等です。

特に会員手帳におきましては従来
のアナログ時代のままの情報になっ
ており、役職・住所・電話(自宅)、
特に、携帯電話の番号が変更になっ
た方が居られるのではないかと。また、
顔写真を変更したいとお思いの方
もいるのでは？ということ定時総
会時にも呼びかけて記入して頂き
ました。総会欠席者にはイントラ
ネットにて依頼している状況です。
早急に最新版管理を実現させ、部
会員同士の連絡などに使用して
頂き、イントラネット及びホーム
ページのアクセス率アップにつ
ながればいいなと思っております。
また、定時総会・レクリエーシ
ョン等の出席率アップも目標に
していきたいと思っております。
最後に2年間という限られた期
間ではありますが、今後とも皆
様の多大なるご協力とご鞭撻を
賜りますようお願いを申し上げます。
この場を借りてお願いを申し上
げ、就任の挨拶とさせていただきます。

会員研修委員会



会員研修委員長
森田 達朗

このたび、私が會員研修委員長の責務を担う

ことになりました。これからの2年間、會員研修のために誠心誠意、努めてまいりますので、何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

會員研修委員会の事業である現場見学会、技術者講習会、経営者講習会の3つの事業は確定していませんが、いろいろな案が選出され協議を重ねています。

會員の皆様のお役に立てるような事業を組み立てられるよう努力して行きたいと思ひます。

ところで、ご存知のように、昨年来、「耐震強度」「構造計算」といった言葉が注目され、マスコミにも頻りに登場しています。社会の信頼を大きく損ねた問題の中で、今、建築に携わる者の姿勢はどうあるべきか、問われているのではないのでしょうか。そこに、「自分さえよければいい」「儲かるためには手段を選ばない」といった見苦しさを

浅はかさが存在しているはずはありません。本来、建築業には、より良い住環境を求めて汗を流し、何よりも安全で安心して生活できる建築物を創造してゆく使命が課せられていると思っております。

今、「国家の品格」ということが言われていますが、建築業界にも品格が必要でありましょう。共に知性を尊重し、品性を培い、感性を育みながら、温かみのある真心のこもった仕事を続けていきたいものです。そして、モノづくりの素晴らしさ、技術の確かさに加えて、人間らしい心の大切さをつかりと次世代に伝えていきたいと思ひます。

どうか、今後とも會員の皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう衷心より願ひいたしました。挨拶とさせていただきます。

活動委員会



活動委員長
村岡 博文

このたび十八年、十九年度の活動委員長の就任いたしました。不慣れな私ですが

なさんのご協力をいただき頑張りたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。今年の活動委員会の事業は『身障者・高齢者疑似体験』、『小学生または中学生を対象にした工作教室』を主に行つていく予定です。

『身障者・高齢者疑似体験』について体験実習活動として、昨年までは普通救命講習会を行なってきました。今年には「福祉のまちづくり条例」等にありますように、バリアフリーと建築は深い結びつきがあるという事で、身障者・高齢者疑似体験」を計画しました。普段、我々は机上で検討し施工します。そこで、身障者・高齢者の疑似体験してもらい、これからのバリアフリーの環境、社会づくりに役立てることができたら良いと思ひ計画しました。

『小学生または中学生を対象にした工作教室』について
昨年の益田委員長の若い力へ目を向けるという考えで、『高校生スクール』を実施いたしました。

今年もその意思を引き継ぎ工作教室を計画しています。ものが氾濫する中、「ものづくり」の楽しさ、素晴らしさを知ってもらい、少しでも建築に興味を

持つてもらい、また、人材育成にも役に立てば良いと思ひ計画しました。2つの事業ともまだ手探り状態ではありますが、青年部らしく、とにかく行動に移し来年度に繋げて行きたいと思ひます。

IT推進室



IT推進室長
原田 義久

平成18年度青年部IT推進室の事業内容

は、協会全体のイントラネット・ホームページのサポートを行い他建築協会との情報交換を行う事でITスキルアップに努めます。

昨年度は、イントラネット構築の勉強会を行いながらFAX廃止に向けて準備を行いました。昨年のアクセス率調査を行いました。このままでFAX廃止を行えるのだろうか「心配でした。

平成18年4月よりFAX廃止が始まりまして2ヶ月が過ぎた今、アクセスの方は7割を超えてまいりました。FAXの廃止にあたり、ペーパーレス・通信費の削減になると共にイント

ラネットによるITスキルアップになります。

会員の皆様の情報発信により情報の共有化、コミュニケーションに役立っていただければと考えています。

鹿児島県建築協会としては、宮崎県・熊本県・鹿児島県で三県建築協合同研修会を行いながら情報交換を行います。本年度、IT推進顧問 桃知利男氏を交えて会議を行いながら、最新の情報を吸収し取り入れて行きます。イントラネットを導入してFAXレスのツールとしか使用されていないのが現状です。

今後の課題として、発注者団体をグループに交えて情報交換に活用できるように努力します。

今度、2年間協会のIT推進に精進していきますので今後とも宜しくお願ひします。

新入会員紹介



田島 功輔
株式会社田島組
薩摩川内市入来町

総会・懇親会スナップ





《平成18年度 社団法人鹿児島県建築協会青年部会 組織図》

		建 築 協 会		※印は青年部会理事						
		青年部会理事会		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">監 事</td> <td>本田和幸</td> <td>御本田建設</td> </tr> <tr> <td>松元利道</td> <td>御松元組</td> </tr> </table>		監 事	本田和幸	御本田建設	松元利道	御松元組
監 事	本田和幸	御本田建設								
	松元利道	御松元組								
事 務 局	運 営 専 務 ※	部 会 長 ※								
	前田晋吾 三和建設㈱	吉溝祐市 御吉溝組								
	副 部 会 長 ※	副 部 会 長 ※		副 部 会 長 ※						
	堀ノ内茂樹 御堀之内建設	古川公一郎 御古川工建		益田啓一郎 御益田建設						
総務委員会		会員研修委員会		活動委員会		I T 推 進 室				
委員長 ※	南 洋和 御南組	委員長 ※	森田博朗 御森田建設	委員長 ※	村岡博文 御村岡工務店	室長 ※	原田義久 御原田建設工業			
副委員長	有村幸光 御有村建設	副委員長	東 優一 御東宝建設	副委員長	黒江浩文 御黒江工務店	アドバイザー	井之上祐一 阿久根建設㈱			
副委員長	千原基彦 千原建設㈱	副委員長	八野源太郎 鹿動建設㈱	副委員長	久永徹郎 御久永建設	部 会 長	1 吉溝祐市 御吉溝組			
監 事	松元利道 御松元組	監 事	本田和幸 御本田建設	副 部 会 長	1 今村壮一 御丸栄建設	副 部 会 長	2 古川公一郎 御古川工建			
1	石野田洋昭 御山建設㈱	1	網屋英次 御廣宮建設	2	大坪祥浩 御大成寺工務店	"	3 堀ノ内茂樹 御堀之内建設			
2	伊地知 忠 御上四元工務店	2	岩澤英司 大英建設㈱	3	川上洋一郎 川上建設㈱	"	4 益田啓一郎 御益田建設			
3	伊藤 誠 伊藤建設㈱	3	海老沢 瑞 海老沢建設㈱	4	小林省三 小林建設㈱	運 営 専 務	5 前田晋吾 三和建設㈱			
4	川畑勇一郎 川畑建設㈱	4	川口和紀 川口建設㈱	5	末廣浩二 御末広	総務委員長	6 南 洋和 御南組			
5	木之下秀司 御木之下工務店	5	川下孝文 田畑建設㈱	6	竹下 啓 御竹下組	役員研修委員	7 森田博朗 御森田建設			
6	木路大作 御木路建設	6	下小野田 慎 国基建設㈱	7	竹永利樹 御竹永組	活動委員長	8 村岡博文 御村岡工務店			
7	高岡清信 高岡建設㈱	7	田島 功輔 御田島組	8	玉島裕一 御玉島建設	監 事	9 本田和幸 御本田建設			
8	中森美智也 御中森建設	8	津曲 隆 津曲工業㈱	9	政 和豊 御政建設	監 事	10 松元利道 御松元組			
9	成尾岳次郎 御成尾建設	9	中窪金一郎 御谷山建設	10	長峰勝文 御竹下工業㈱	総 務 委 員	11 伊藤 誠 伊藤建設㈱			
10	水口照美 水口建設㈱	10	中村 勝 上山建設㈱	11	中村一人 協和建設㈱	"	12 水口照美 水口建設㈱			
11	宮崎健一 御友建設㈱	11	堀之内広高 御堀之内工務店	12	永山昭広 御勝建設	役員研修委員	13 川下孝文 田畑建設㈱			
		12	米溝 浩 米溝建設㈱	13	鹿月野 健 御鹿月建設	活動副委員長	14 下小野田 慎 国基建設㈱			
		13	脇田康弘 御有馬工務店	14	羽月 巧 御三森建設	活 動 委 員	15 久永徹郎 御久永建設			
				15	湯浅康平 御湯浅建設	"	16 今村壮一 御丸栄建設			
							17 小林省三 小林建設㈱			